

・★ かんたんレシピ ★・

アスパラガス& ベーコンの ミモザサラダ

材料 (2人分)

- アスパラガス…6本
ベーコン…80g
卵…1個

- 無糖ヨーグルト・
マヨネーズ
…各大さじ1/2
黒コショウ…適量

アスパラガスのグリーンと卵の黄色が鮮やかに映える、
春らしいサラダ。ベーコンで食べ応えも十分です。

- ①卵は茹で、白身と黄身に分けてそれぞれ細かく刻む。
- ②アスパラガスは茎の下の部分5センチほど皮をむき、水にくぐらせてラップをし、500Wの電子レンジで1分ほどかける。ベーコンはフライパンを熱し、焼き色が付くまで焼く。
- ③器にアスパラガス、ベーコンを盛り、①をかける。
- ④無糖ヨーグルトとマヨネーズを混ぜ合わせて③にかけ、黒コショウを振る。

※ベーコンは、油を引かずに肉の油で
こんがり焼くことをおすすめします。
※ゆで卵は、ザルなどに押し当てる、
細かくカットされます。



教えてくれた人…尾田衣子さん
料理研究家。料理教室「アシェットドキヌ」主宰
ル・コルドンブルー東京ほかで料理を学び独立。
身近な食材で手軽に作れる料理に定評がある。
<http://ryo-ri.net/>



佐藤秀彦の 身辺雑記

今年に入ってコロナ感染者の数もみるみる増え、2月には東京で2万人を超える勢いでました。オミクロン株は重症化しにくいと言われていますが、気管に基礎疾患がある身としては、罹らないにこしたことはありません。2月10日に3回目のワクチン接種を受けて、少しホッとしました。

そんな中、以前から気になっていた『描くひと 谷ロジロー展』を観に、世田谷文学館に行ってきました。氏は漫画（劇画）家ですが、緻密な作画、構成によって描き出される作品は氏ならではの世界で深い読後感を残します。海外でも読者が多く、大人の読者に堪える芸術として高い評価を受けていて、フランスのルーヴル美術館からもオリジナル作品を委託されているそうです。氏を知ったのは『孤独のグルメ』という漫画でした。原作、久住昌之氏の作画を担当して、主人公が仕事先で、空腹に耐えきれず、自分の勘で店を探し、一人で食事をするというだけの漫画ですが、白黒の絵の料理もおいしそうで、大変おもしろく読みました。

そのうち、テレビでも放送していることを知り、録画して見ていました。一昨年入院した時もスマホで夢中になって見ていて、退院したら、この店に絶対食べに行こうと思っていたが、残念ながら未だ実行されていません。谷ロジロー氏の作品の中で特に好きなのは、セリフがほとんどない「歩くひと」です。平凡な男がただひたすら歩くだけの漫画ですが、ずっと眺めていられ、何度も読み(?)返したりします。この作品で世界中のひとを魅了したそうですが、セリフがなくても、いや、ないからこそ解かるのかも知れません。300点以上の作品に満足して、退館後、芦花公園駅前の中華屋さんで、味噌ラーメンと天津麺で昼ご飯。



世田谷文学館入口

住まいのことなら
LIXILリフォームショップ
ライフア多摩

(株)インテリアヒロセ 二級建築士事務所

〒206-0012 多摩市貝取1-47-6

TEL : 042-373-8866 FAX : 042-373-8899

0120-650-405

<http://lifatama.com> ライファ多摩 で検索

ライフアハ王子東

(株)インテリアヒロセ 二級建築士事務所

〒192-0032 八王子市石川町517-2

TEL : 042-644-7277 FAX : 042-642-2770

0120-45-7277

クイズの答え : 雪月花 (A. 百花繚乱 , B. 月下氷人 , C. 萤雪之功)

住まいのことなら
LIXIL
リフォームショップ

ニュースレター

らいふあ通信

お客様、地域の皆さまにお伝えしたいことや、知つておくとちょっとお得な情報をお届けします



代表取締役
広瀬 大三

こんにちは、多摩市貝取バス通り スーパー三徳の横

『LIXILリフォームショップ ライファ多摩』の代表、広瀬大三です。
季節はすっかりポカポカ陽気になりました。

多摩市で住宅リフォーム店として店舗を構え、30年以上になります。
生まれ育った地元で、父の代から長いこと仕事をさせて頂けているのは
ひとえに支えて下さっている地域の皆さまのおかげと感謝しております。
いつもありがとうございます。

さて、前回の冬号でもお伝えしたリフォーム商材の納期の遅延について少しあたお話をいたします。コロナ禍の影響で、メーカーから最初に「納品できません」との知らせがあったのはトイレでした。昨年の8月のことでしたが、年単位では稀にある話だったので、困りはしたもののが2~3週間くらいで元に戻るだろうと考えていたのを覚えています。

当時は大手メーカーであるLIXILも、コロナ禍でのベトナム工場のロックダウンにより部品の製造が止まっていたものの、ロックダウン解除後には元に戻ると見込んでいたようです。
しかし実際には、ロックダウン解除後もワクチンを打った人しか働けず、本当に少量しか生産できない状況に……そういう間に再びロックダウンになり、その解除後も今度はベトナムから運ぶための船やコンテナが無い!となり、全く納期がわかりません…という状態が続いてしまいました。

そして現在もっとも納期がわからず深刻なのが、給湯器とガスコンロです。

こちらはハーネスという電気信号を送る部品がないことです。電線だけの話なので、最初は直ぐに代替品が出るのではないかと思っていたのですが、この部品は1個10円~とかの価格なのです。
そうなると部品が安すぎて、新たに日本で工場を作っても長期的に見ると採算が合わず、結局どうしても海外に頼らざるを得ないとのことです。

いま新たに給湯器を発注しても、6月以降に商品が出てくるかどうか解らないとのメーカーからのアナウンスが来ております。「6月に出荷」ではなく「6月以降に」と言われるとそれが7月になっても8月だったとしても文句は言えません…。

その他にも、照明、換気乾燥暖房機、インターホンなどもかなり納期がかかっています。ご不便をおかけいたしますが、こういった世界的な情勢につきご理解いただけましたらと思います。
何かどこか調子が悪いなと思ったらぜひ早めのご相談をお願いいたします。



リフォームプロ
更新中!

弊社リフォームの施工事例、ただいま進行中の工事の様子や
新商品のご案内、はたまたスタッフのつぶやき等…日々更新中です!!
弊社ホームページからぜひご覧になってみてください。

ライフア多摩



<http://lifatama.com>

LIXILリフォームショップ
ライファ多摩
ライファ八王子東
株インテリアヒロセ

No.78

2022年3月吉日発行



八王子東店 店長
窪田 洋

こんにちは、だいぶ春めいてきましたが皆さまお元気ですか。
このところ連載でお伝えしている
『息子家族と、私たち夫婦の2世帯住まいへの引越し&新築の話』の続きです。
前号では土地が見つかり金融機関との契約が済んだところまでお話ししました。

いよいよ建物の設計です。私にも設計の資格はありますが、ここはやはり賃貸併用住宅に慣れていて、かつ完成後の賃貸管理なども含めた総合的な専門知識のある会社に任せた方が良いのでは、との息子の意向に沿うことにしました。

その会社の基本仕様を元に試行錯誤するわけですが、息子たち夫婦や担当の方の意見の中には、私には思いつかなかったような発想もあり、とても良い勉強になっております。この経験は今後仕事にもいろいろ役立つそうです。

あ、そうそう水回りだけはすべてLIXIL製品にしようとの意見だけは通してもらいましたよ(笑)



そして2月末には無事確認申請も通り、いよいよ着工です。これから最も気を付けなくてはならない事は、工事期間中の近隣の皆さまへの配慮ですね。これは工事の大小問わず、今後も円満に暮らしていくためには一番大切なことです。

では、次回夏号でまたお知らせいたします。



こんにちは、今回はまだ見た目は美しさを保っている、多彩柄サイディング仕様の戸建外壁塗装工事のご紹介をさせていただきます。

せっかくの素敵な多彩柄を単色で塗りつぶしてしまったらつまらないのでシーリングを打ち替え、防水面はしっかり対策し、見た目が変わらない様に下地を作った上で『クリア塗装』を施しました。
(『クリア塗装』は外壁面の状態によっては難しい場合もあります。)
どうぞお気軽にご相談ください。



多摩店 店長
水野 聰

新築時の美しさを取り戻しました。
築15年くらいまでの、壁面劣化
色褪せ等が少ない物件には
クリア塗装は大変おススメです!



2022. 3

はちおうじだより

熟語探し



A

B

C

答えは巻末ページに！

答
え



廣瀬 寛太 (ひろせ かんた)
・マンションリノベーションアドバイザー
・福祉住環境コーディネーター
・カラーコーディネーター

こんにちは。ライファ多摩の廣瀬寛太です。

日々を何気なく見渡してみると、楽しいこと、わくわくするようなことが身の回りに沢山転がっていることに気が付きます。美味しい食べ物は溢れているし、お金の使い途も随分と増えたように思います。

ところで、そういう数あるわくわくのなかでも、"心を打つ言葉や文章に触れる時に心の内から湧き上がる喜びや活力"は、他の何にも代えがたい格別なものがあると思います。

某芸人風に言わせれば、世の中興奮することって一杯あるけれど、やっぱり一番興奮するのは、というやつです。

そこで今回は僕の拙い文章に代えて、僕が最近一番"興奮"したPanasonicの創業者、松下幸之助氏のお言葉を以下に引用させていただきます。皆さんにも興奮して頂こうという目論見です。

「自分には自分に与えられた道がある。天与の尊い道がある。どんな道かは知らないが、ほかの人には歩めない。自分だけしか歩めない、二度と歩めぬかけがえのないこの道。(中略)この道がはたしてよいのか悪いのか、思案に余るときもある。慰めを求めてくなるときもある。しかし、しょせんはこの道しかないのではないか。」

あきらめろというのではない。いま立っているこの道、いま歩んでいるこの道、ともかくもこの道を休まず歩むことである。自分だけしか歩めない大事な道ではないか。自分だけに与えられているかけがえのないこの道ではないか。他人の道に心をうばわれ、思案にくれて立ちすくんでいても、道は少しもひらけない。道をひらくためには、まず歩まねばならぬ。心を定め、懸命に歩まねばならぬ。」

SNSの普及によって自分と他人との比較がしやすくなり、ともすると"他人の道に心をうばわれ、思案にくれて立ちすくんでしまう"ことも多くなったように思います。けれど、そうしても道は少しもひらけないと松下氏は言います。厳しい言葉のように思えるかもしれないこの文章は、しかし、希望と勇気を僕らに持たせて、結びます。

"それがたとえ遠い道のように思っても、休まず歩む姿からは必ず新たな道がひらけてくる。深い喜びも生まれてくる。"

いかがでしょうか?興奮しません?

